

救急艇アンケート 最終報告

期間：9月29日（水）-10月8日（金）

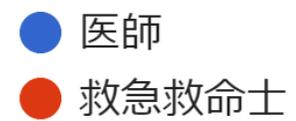
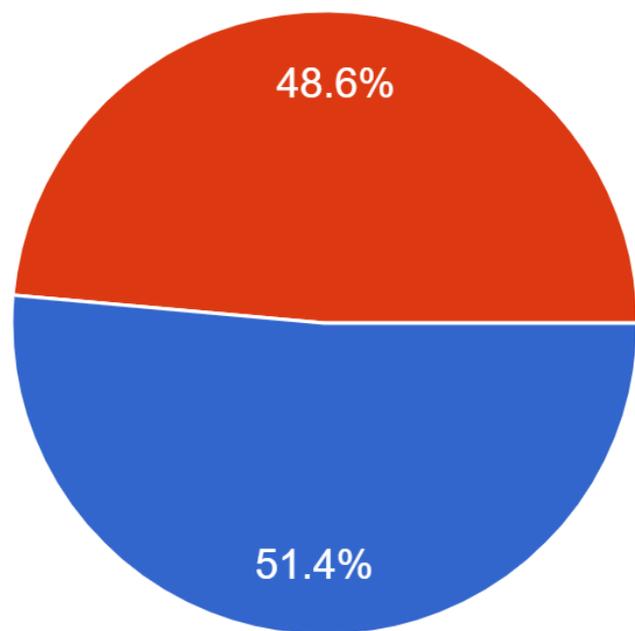
方法：Google Formsによる

返答：医師18名（100%）

救命士17名（100%）

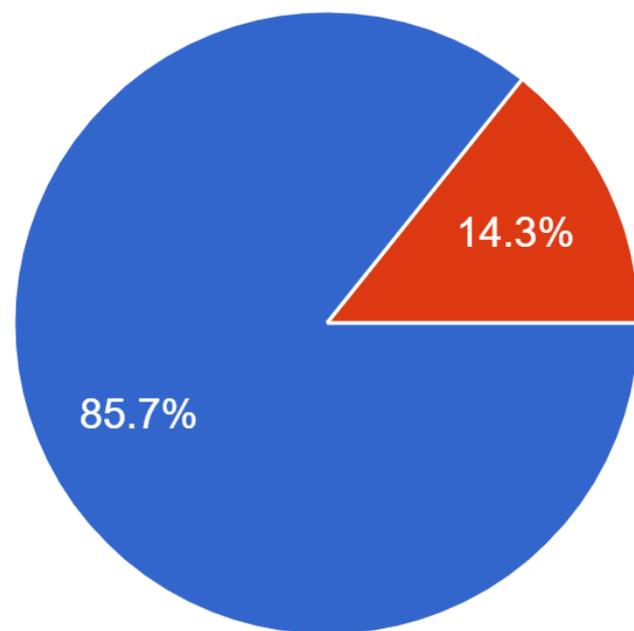
Q1 あなたは？

35件の回答



Q2 病院前救護の現場活動経験は？

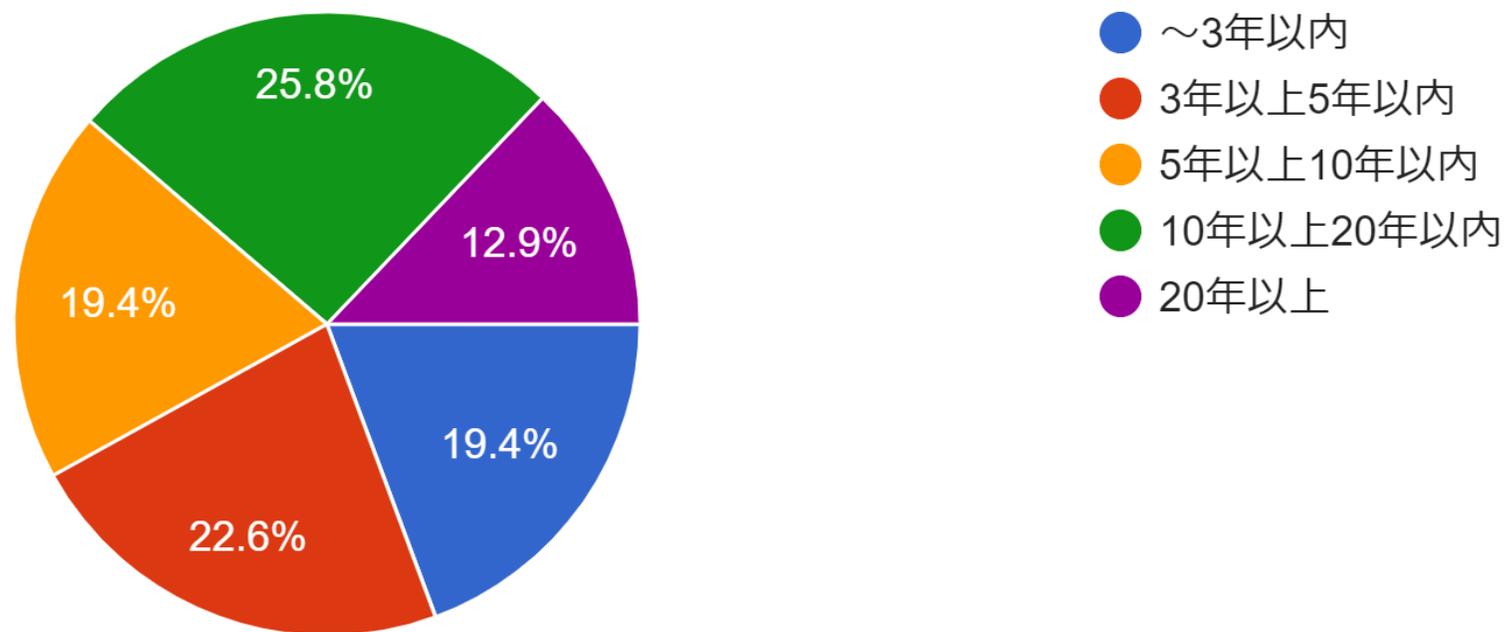
35 件の回答



- ある
- ない
- 選択肢 3

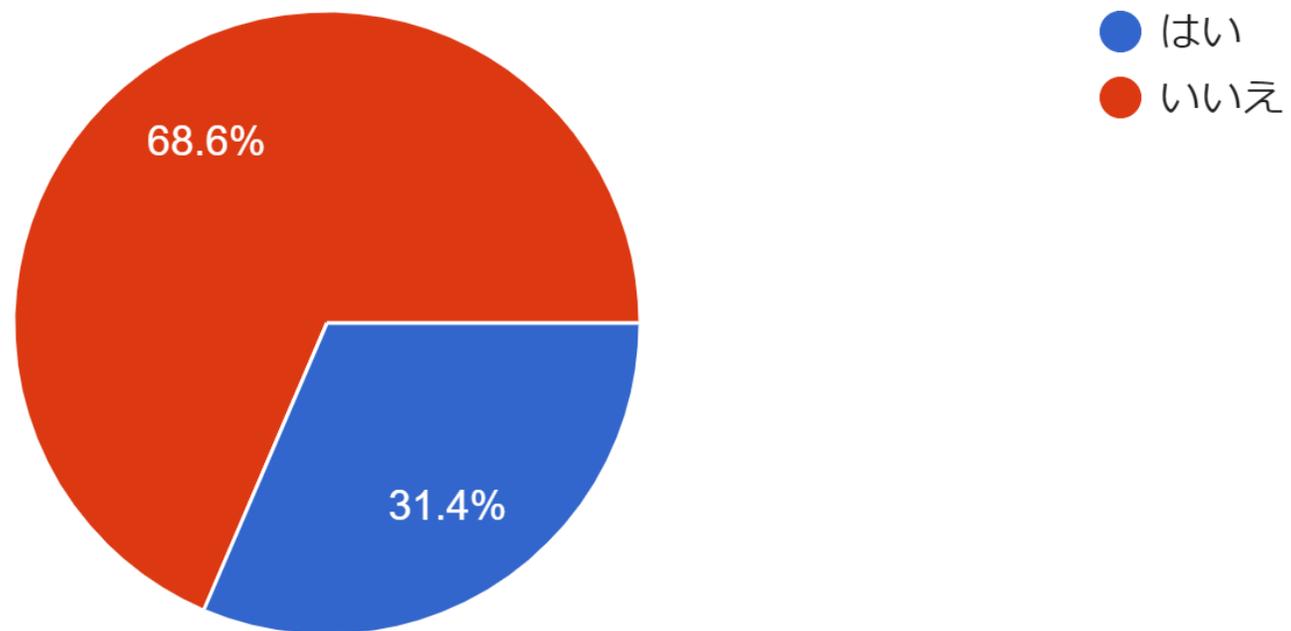
Q3 Q2である、と答えた方にお伺いします。現場活動経験は何年？

31件の回答



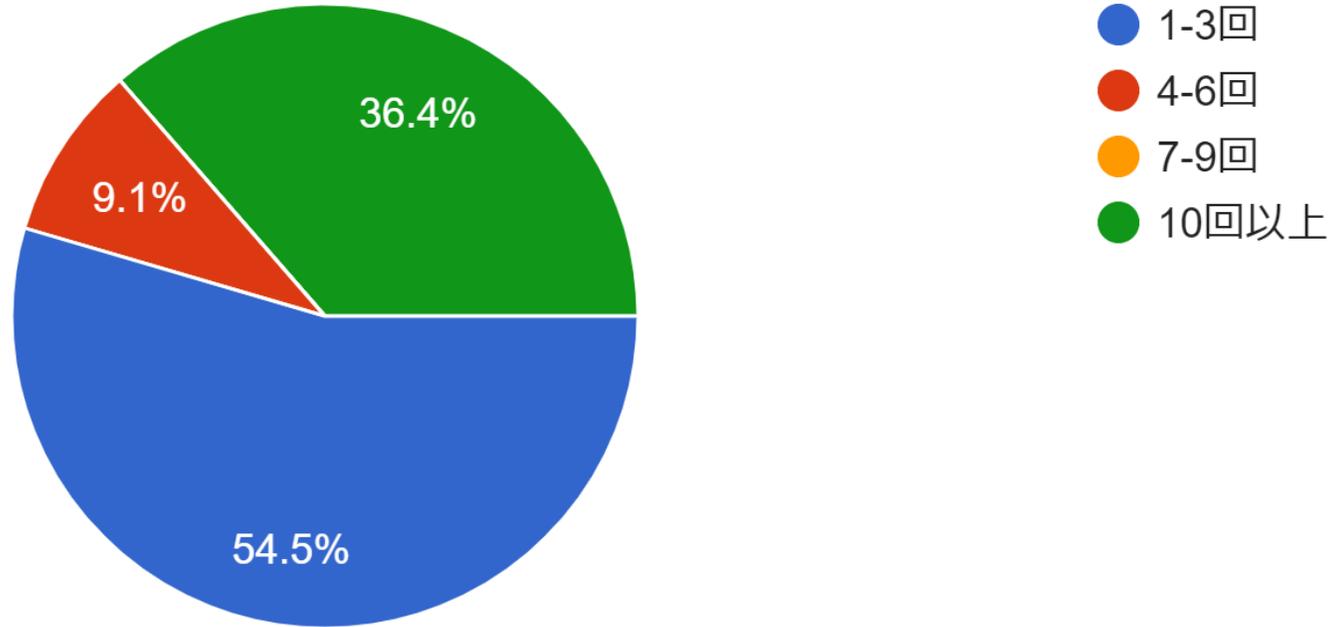
Q4 海洋・洋上救急事案や海上輸送を用いた救急活動を経験したことがありますか？

35件の回答



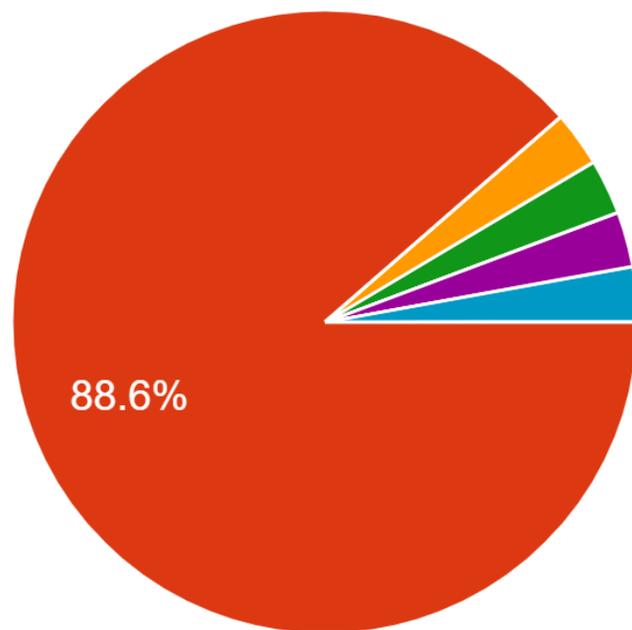
Q4ではい、と答えた方にお伺いします。何回の経験がありますか？

11件の回答



Q6 救急艇業務時の体調は？

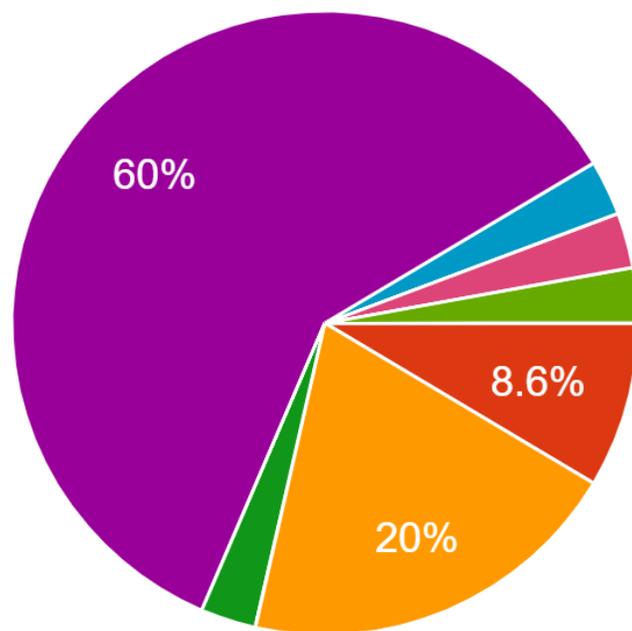
35件の回答



- 船酔いなど、救急艇業務による体調の悪化があった
- 問題なかった
- 事前訓練のみの参加でしたが、問題ありませんでした
- 業務はしていません
- 業務が中止になりました。
- 訓練のみで、中止となったため、業務に従事していません

Q7 重度傷病者を搬送する場合に必要な医療職の人数は何人が適切だと思いますか？

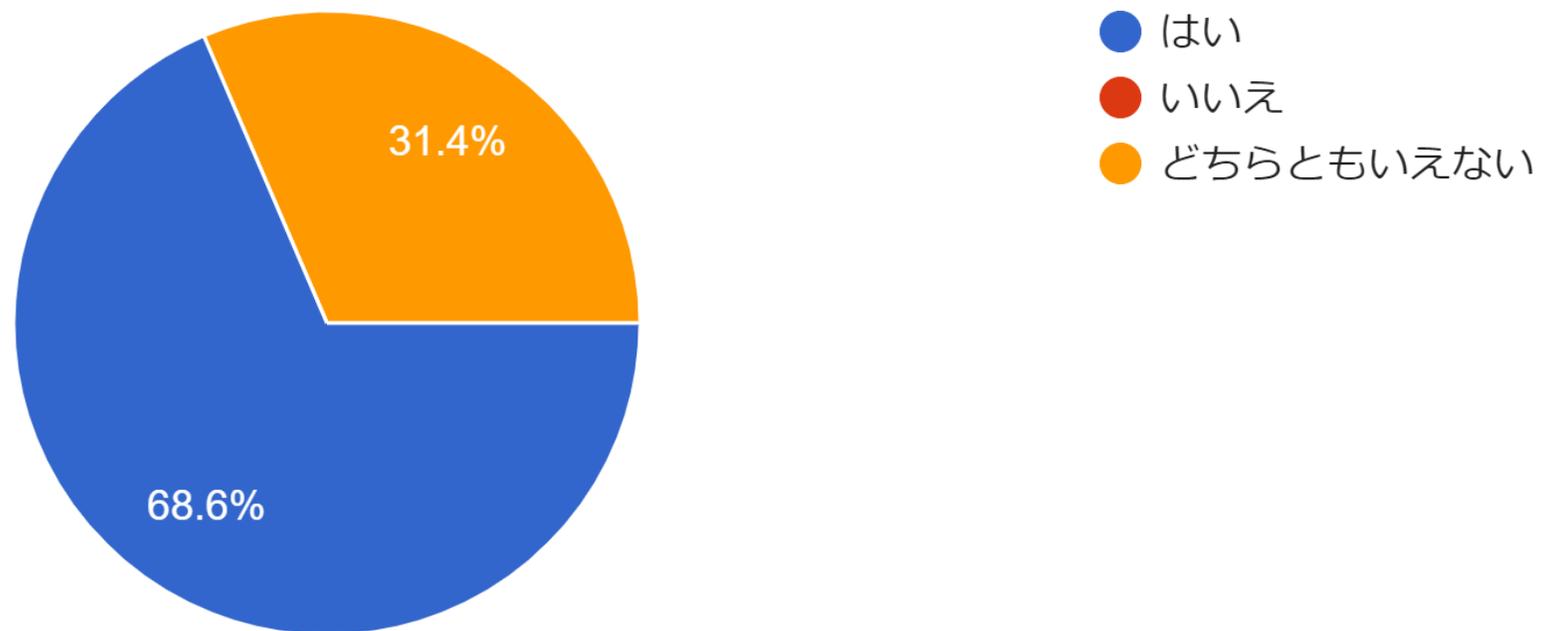
35件の回答



- 救急救命士1名
- 救急救命士2名
- 医師1名、救急救命士1名
- 医師1名、看護師1名
- 医師1名、看護師1名、救急救命士1名
- 救急救命士3名
- 医師1名、看護師1名、救命士2名
- 医師1名、救急救命士2名

Q8 救急艇はベイエリア、沿岸の救急業務支援に有効と思うか？

35件の回答



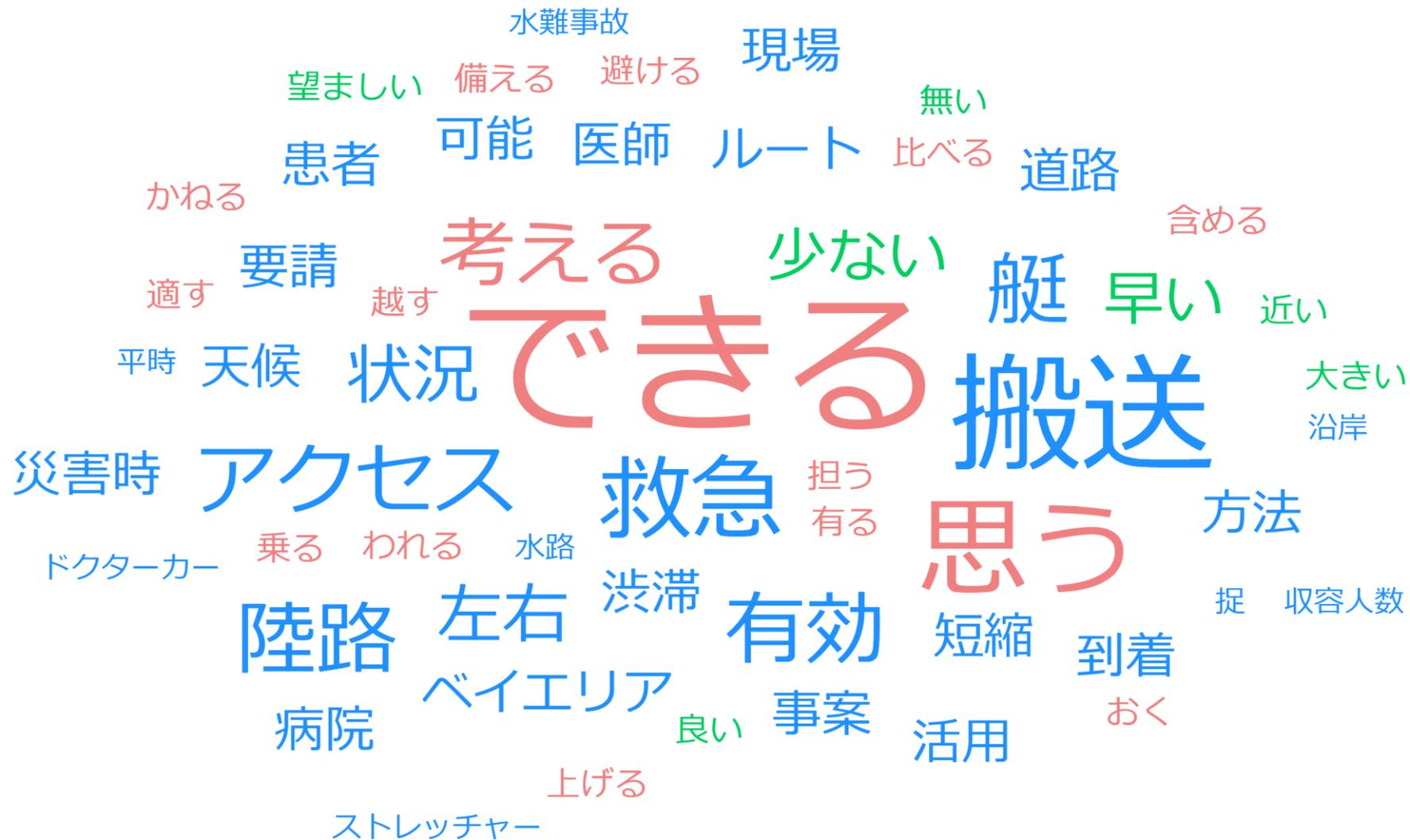
Q8の理由は？

- 実際の扱い事案が、無かったため。
- 陸路より早く移動できるメリットがあると思います。
- 沿岸におけるドクターカーのような役割を担うことができる
- 救急艇が有効となる状況が少ない。
- 要請事案によっては搬送時間の大幅な短縮が可能となる。
- 歴史的に発達している水路がある地域は、活用できるに越したことはない。有事の際に選択肢として拡張可能な状況は望ましいが、平時からどの程度備えておくかは議論が必要。
- 特に医師要請などに関して救急艇のほうが場所によっては現場到着までの時間を短縮できると考えます。また、大規模災害時にも有効に利用できると考えます。
- 水害以外は医療の提供・アクセス方法としては最高であるが、患者搬送には適さない
- アクセスの速さ

Q8の理由は？

- 陸上の搬送が困難な場合は非常に有効ではあるが、都市構造が適応していない。
- 大都市では渋滞が避けられ、また水難事故時には状況によって陸に上げるよりもスムーズに搬送ができると考えるため。
- 天候に左右されるデメリットはありますが、道路事情に左右されないことが大きいと思います。今後は大阪万博などベイエリアでの救急対応の機会などもあるかと思います。道路のようにアクセスルートに捉われない搬送ルートの確立には有効ではないでしょうか？
- 陸路よりも救急艇で直線距離で近い搬送方法があるのであれば、そちらを活用したほうが良いと思います。
- 陸路での搬送に比べ、病院着までの遅延要素がない。
- 実働がなかったので判断しかねます
- 天候に左右されるので
- 搬送する病院へのアクセスがもっと楽で、患者さんがストレッチャーに乗ってる状態でも救急艇から乗り降りできる船があれば、災害時含め有用であると思う。
- 渋滞がないため陸路より早く目的地へ到着できるから。
- 複雑な地形のベイエリアにおいて機動力がある。
- 医師の現場派遣・収容人数が少ない為

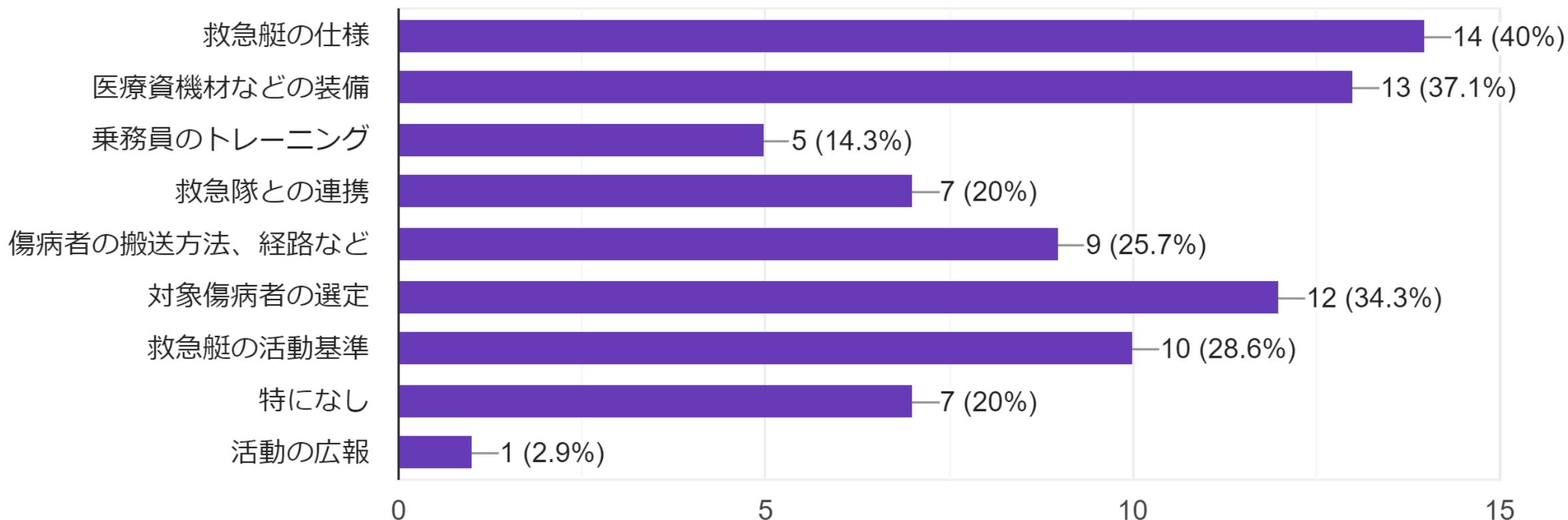
Q9 有効か？ テキストマイニング



頻度が高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさを図示しています。
単語の色は品詞の種類で異なり、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表しています。

Q10 その他、業務で改善点、ご意見があればチェックをお願いします。（複数チェック可）

35件の回答

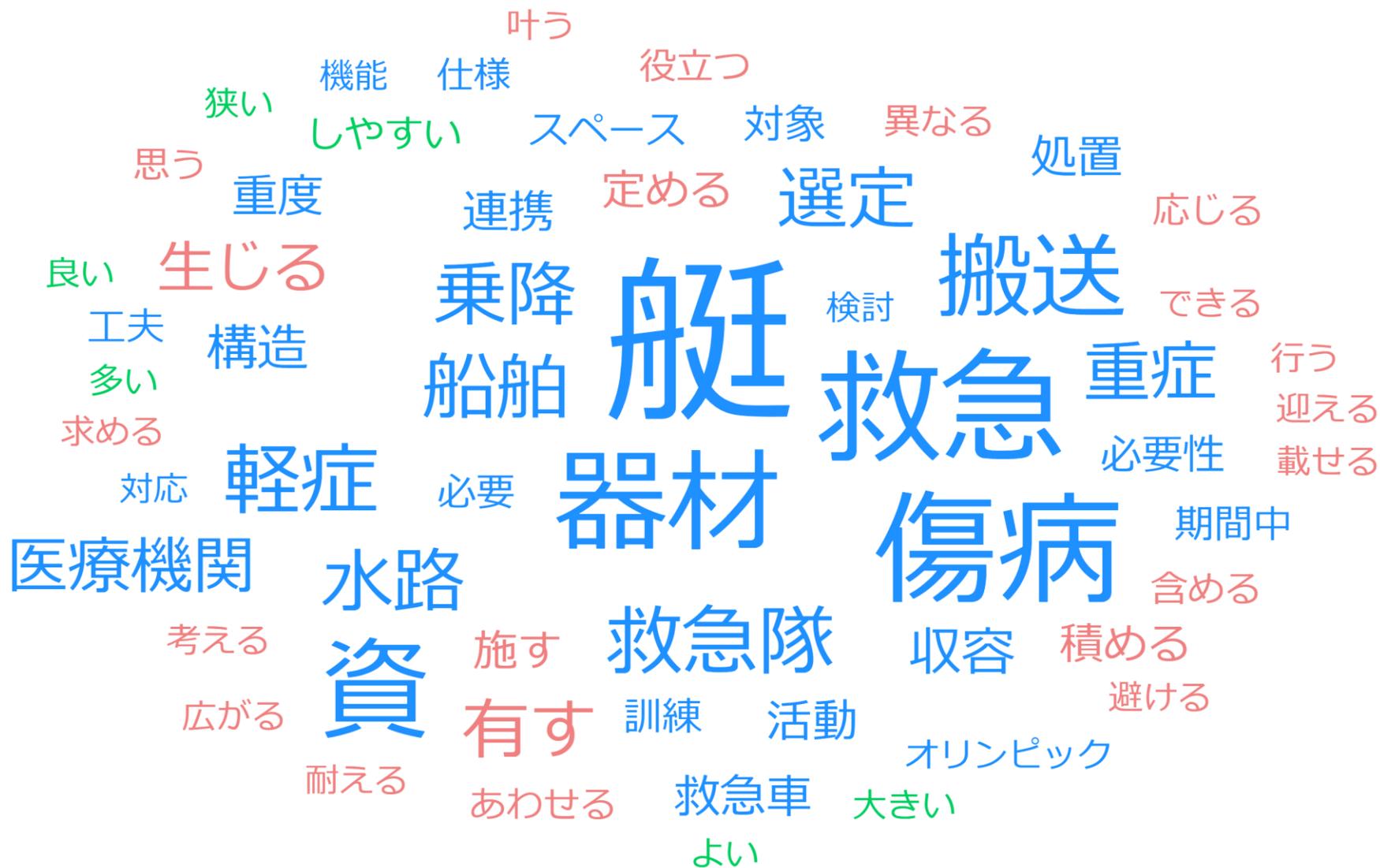


Q11 具体的には？

- ・蘇生人形を使用したトレーニングを行いたい。
- ・搬送対象は救急車と同等であることが前提だと思います。重症傷病者や、船舶内の活動スペースは、バックボードが積めるなどの条件が出てくるとと思います。考え方としては、救急車とは異なり、ドクターカーのような使い方もあるかと思っています。
- ・重度傷病者を想定し、救急隊や警察と連携したトレーニングをした方がよい
- ・重症者を搬送できるようにするべきである。
- ・傷病者を艇へ移乗させる際の連携訓練
- ・救急艇の構造は求める機能に応じて検討が必要である。軽症者を一度に多数搬送するか、重症者を渋滞の避けられる水路で搬送するか、いずれかの方向性を定める必要性がある。大型の船舶になると通過可能な航路（橋下など）に制限が生じ得る。機動性を重視すると小型になり搬送者数に制限が生じ、重症例にも耐えられない。まず求める機能と水路の状況を評価した上で、船舶の構造・規模を決定し、その後運用を検討する必要があるだろう。
- ・オリンピック期間中、救急艇の活動圏内にあるオリンピック会場でメディカル活動を行ったが、特に救急艇の活動が周知されていることはなかった。搬送先医療機関を選定する際に洋上から迎えに行ける旨、もっと広報やオリンピック側に医療機関情報に載せられれば良いのではと思った。水上で行う競技との連携や救護班との連携が叶うとさらに良い活動になったと思う。様々な調整や苦悩があるかと思うが、次回別途大会期間中に活動する際に期待しております。
- ・今回、最も安全管理が必要な乗降の部分を考慮して、対象傷病者の選定が行われたかと思っています。より乗降しやすい救急艇の仕様にすることや工夫を施すことができれば活動の幅もさらに広がると思います。
- ・また、今回は軽症者に限定され、資器材も必要最小限にされていましたので、今後対象傷病者の拡大等にあわせて資器材も選定する必要があると考えました。

- ・軽傷者を搬送する必要性は、大規模災害には不要かと考えられる
- ・どこまでの患者を対象にするか次第ですが、より重症の方も搬送できるようにするにはスペースと物資が必要かと思えます。重症の方の需要もあると思えます。
- ・艇の構造上、ストレッチャーのまま収容できるようにしないと救急艇としてのメリットがない。重度傷病者に対応できる緊急車両と同じ資器材、構造がなければ救急艇とは言えない。
- ・救急艇の仕様としてもう少し大型でも良いかと思いました。具体的には海上保安庁の巡視船・艇（PS型と呼ばれる130t程度の機種）をベースにしたタイプはいかがでしょうか？機動力という点ではデメリットはありますが、処置室などのスペースや安定性などの利点は大きいと思えます。
- ・資器材がどこまで必要かを検討する必要があった。
- ・スペースが狭いため、簡易ベッドが設置できるくらいの大きさの救急艇が理想だと考えます
- ・救急隊の行った処置も含め、患者情報を出来るだけ早期に、救急艇医療スタッフに伝達できる体制
- ・何かあったときの備えとしての救急バッグ
- ・救急艇自体が移動する初療室とまでは言わないが、救急車レベルの機能を有し、数名収容できるような仕様であった方が、災害時含めイベントが多い東京の湾岸エリアの対応に役立つと思う。
- ・医師も乗船していたため、現場での熱中症対応やALSに対応した資器材があるとより良いとおもった。
- ・救急艇の乗り降りがしやすい工夫が可能であれば、より安全な活動になるかと思えます。
- ・訓練の際には軽症のみを想定しているとのことだったので、重症度が上がるにつれ人員、機材の調整は必要になるのではと思えます。

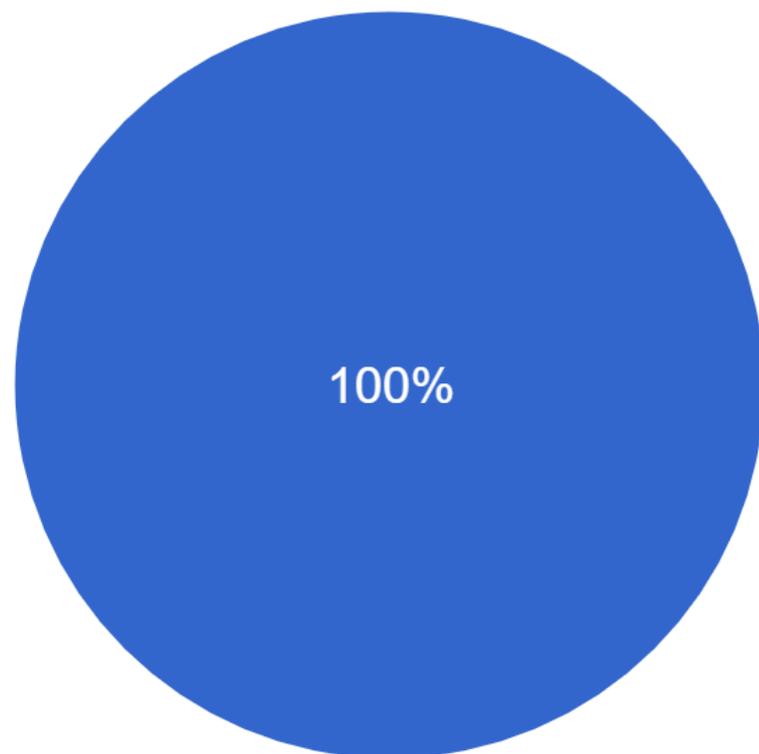
Q11 改善・留意すべきは・・・テキストマイニング



頻度が高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさと色で図示しています。
単語の色は品詞の種類で異なっており、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表しています。

Q12 同様な取り組みがあった際に、また参加したいか？

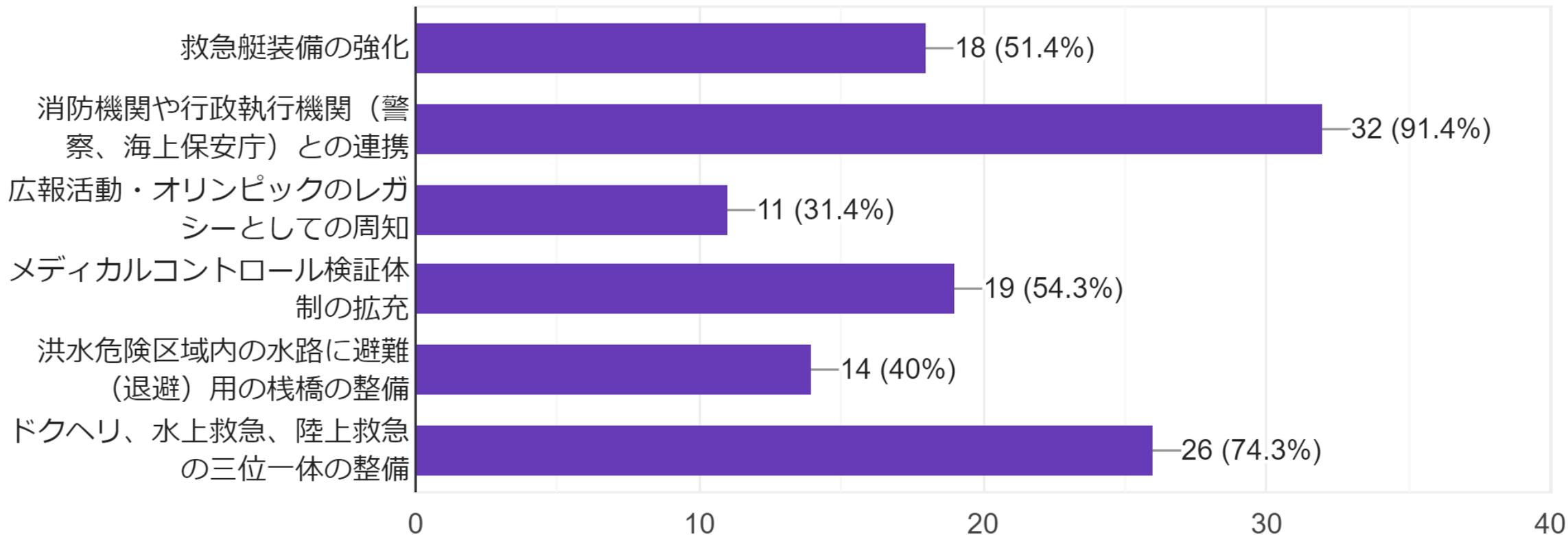
33 件の回答



- はい
- いいえ
- どちらともいえない

救急艇を普及させるための方策は？（複数チェック可）

35件の回答



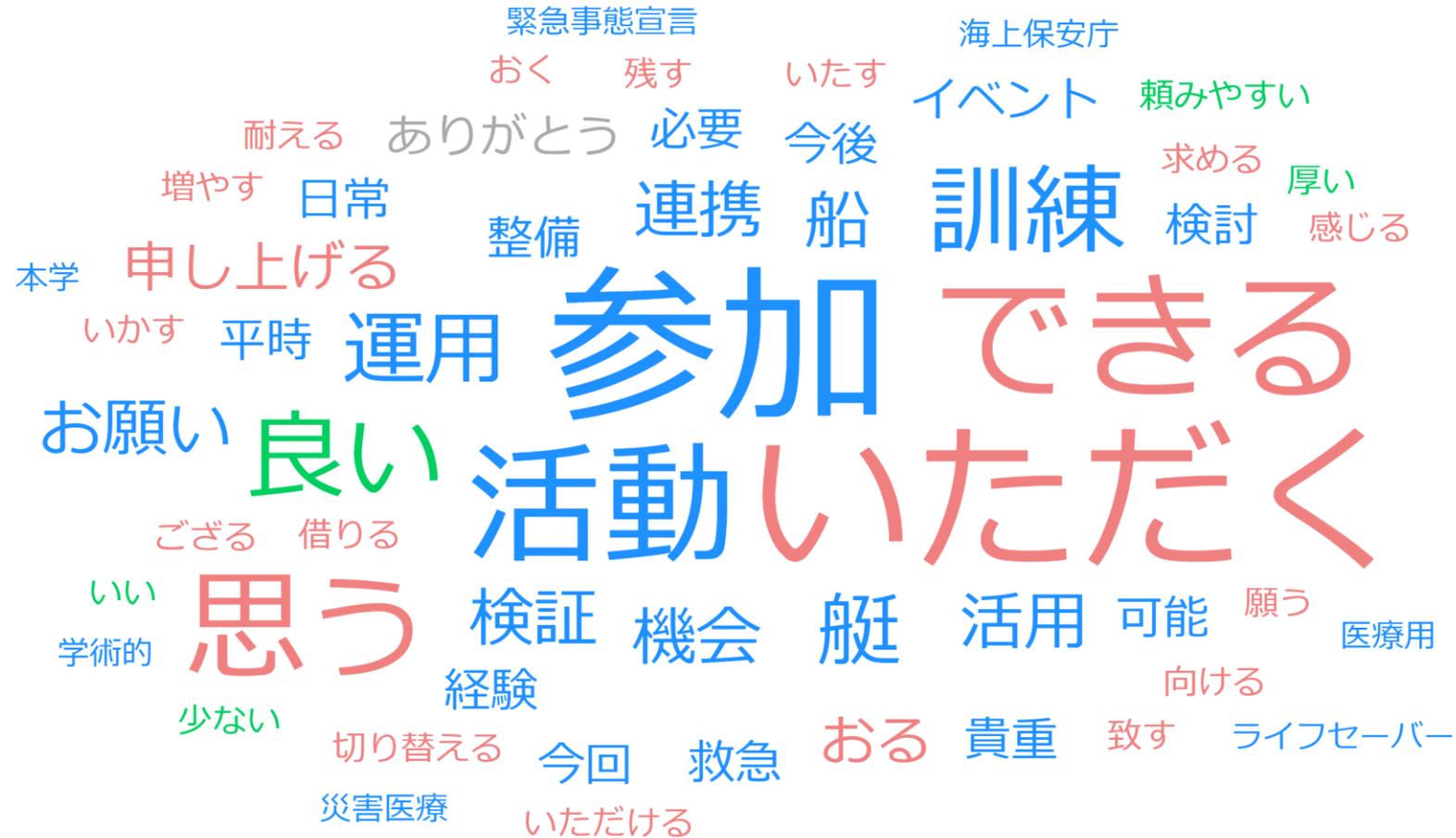
自由意見 1

- 可能であれば、小さなイベントからでも活動し、実績を残していけたらと思います。
- 活動範囲の拡大や、船の種類を増やして多種多様な対応ができるようにする必要もあるかと思えます。
- ライフセーバーとの連携や搬送経路の検証（病院到着までの時間の検証）などを学術的に行うことで効果が検証できるのではないか？
- 災害医療のために棧橋等の整備をしておくことは現実的でないように感じる。平時から一般に使用されているハードを活用する前提が良いと考える（でなければ災害時の流動的運用に耐えられない）。それらを活用しながら、どのような機能を求め、どのような船舶を準備し（専用艇が必要なのか、例えば消防へりに類似して平時運用船を医療用に切り替えることは可能かなども検討すべき）、いかに運用するか、が課題である。
- 大変貴重な機会に参加させていただきありがとうございました。この活動が日常的に実働され、国内の更なる蘇生率の向上等に寄与されることを願っています。

自由意見 2

- 救急艇の活動に参加させていただき、本当に良い経験ができました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。 緊急事態宣言により実際の現場出動はありませんでしたが、訓練を通して活動ができたことは良い糧となりました。救急艇は機動力もあり、**今後に期待しております**。2015年**大阪万博でも活用してはいかが**でしょうか。 また機会があれば是非お声かけいただければ喜んで参加させていただきます。何卒よろしく願いいたします。
- 実際の活動がなかったのが残念です **災害訓練にとり得れるといい**と思います
- イベント期間はもちろん、日常の需要があればぜひ日常レベルでも運用していただきたいです。
- 今回の**社会実装をいかして、実用化に向けた整備を検討**していただきたい。
- 日程の都合で実務には参加できず、訓練のみの参加となりましたが、貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。またこのような機会がございましたら、ぜひ参加したいと思います。引き続き、よろしくお願い申し上げます。
- 訓練のみの参加となりましたが、非常に良い学びとなりました。**本学でも海上保安庁や自衛隊との連携もあります**ので、今後の船艇の大型化などの際には連携訓練などの協力も頼みやすいかと思います。御用の際にはお気軽にお声がけください。
- 今回は活動日数が少なく参加できておりませんが、次回ある際は是非参加させていただきたいです。宜しく願い致します。

自由意見：テキストマイニング



頻度が高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさと色で図示しています。
単語の色は品詞の種類で異なっており、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表しています。